

# 社協 おがうち

小河内地区社協 第57号 令和4年6月

新型コロナウイルス感染防止の為、あらゆる活動を自粛していましたが、4月からようやくシニアクラブを開催することが出来ました。

4月26日(火)には、広島市遺族会安佐支部支部長 山田義春さんから戦争に関する貴重なお話を聞く事が出来、皆さん熱心に聞いておられました。

紙面の都合ですべてを掲載する事が出来ず一部抜粋しております。

## ◎大東亜戦争と小河内

安佐町(旧五カ村)は戦前(昭和十五年)人口一万二百十一人で二千四十戸在りました、又、町内の戦死者は六百余名であり約三戸に一名が戦死いたしました。

明治の開国以来、我が国に押し寄せ来る西洋文明諸国に、ともすれば植民地化しかける国家存亡の時日本国民は懸命に国創りに励むうち日清、日露戦争を始め、支那事変、大東亜戦争(第二次世界大戦)へと巻き込まれました。

我々の祖先は、かかる幾多の国難戦役に祖国日本の隆盛と平和を願い、大命のもと、地球の半ばに至る戦域にて(太平洋に浮かぶ小島から、中国、東南アジア、又西はインド方面にて)勇戦奮闘され、ついに祖国に帰ることなく命を果てられた軍人軍属の方々、又国家総動員令等により駆り出された女子挺身隊国民義勇隊員、学徒動員、原爆被爆学徒の皆様方、或るいはシベリア抑留者全て二百五十万余りの若人が戦死されました。かかる苛烈を極めた戦争で、かけがえのない我が子を、父を、兄弟姉妹を、又私財、公共財を失い、昭和二十年の敗戦、を迎えた国民は、戦争の悲惨さを心の底から悟り、戦争の放棄をし恒久平和をうちたて、以来六十年が経過相しております。



山田義春さんです。



## ◎小河内戦死没者慰霊碑


支那事変・大東亜戦争における軍人・軍属学徒動員の戦死者百二十名の御芳名を表面に印し裏面に生還者を記してあります。佐々木昌盛建設委員長以下二十三名の発起人により生還軍人・戦没者遺族会・地区民有志の協力のもと建立せられる。戦時小河内村は約五百戸、内従軍者四百余名その内線死者百二十名にのぼったとのこと如何に戦争が悲惨であったかを知り、決して後世に繰返す事のなきを念願し併せて御英霊の顕彰してこれを建立するものなり。



昭和四十四年三月二十一日建立

※毎年お盆にはお寺様を迎え読経のもと遺族会員がお参りして居ります。

## ◎シニアクラブ

今年の干支「トラ」を作りました。あゆ窯主宰の竹内栄治先生のご指導で、楽しくにぎやかな雰囲気のうち各人2体のトラを作りました。難しいところは先生に声をかけて、助けてもらい充実した2時間を過ごすことができました。



## ◎小河内の野草で作る「てんぷら」

時期が少し遅れましたが、たくさんの野草が集まりました。ゆきのした・フキ・ねぎぼうず。すぎな・ごごみ・ゼンマイ・たら芽・バカ芽・ヨモギ・イタドリ



わらび・ウド・ノビル・ふじの花・葉わさび・みょうが・青じそ等々



ノビルは酢味噌あえ、フキは煮物に、あとは「てんぷら」にしました。皆さん春の味を満喫しながら美味しく頂きました。

その後、渡邊先生のギター演奏にあわせて懐かしい歌や童謡などを歌い、久しぶりに大きな声を出し楽しいひとときを過ごしました。



## ◎ご寄付有難うございました。

竹田 知江子様  
香典返し

藤木 文江様  
香典返し

的場 末子様  
香典返し



※ 小河内地区社会福祉協議会へのご寄付の手続きは、担当地域の民生委員が取扱わせて頂きます。